

(仮称) ビワイチ推進条例案(たたき台・修正)(令和3年12月16日 地方創生・国スポ・障スポ大会対策特別委員会 資料1-3) に対する各会派からの意見等

会派名	ページ および 行番号	意見等
自由民主党 滋賀県議会議員団		なし
チームしが 県議団		なし
日本共産党 滋賀県議会議員団		<p>[条例そのものの是非について]</p> <p>今、県政の重点課題として取り組まなければならないのは、県民の福祉の増進です。子どもの医療費無料化、障害者施設の整備、保健師の増員や保健所の整備などの公衆衛生体制の強化、特別支援学校の過密化解消など、喫緊の課題が山積していますが、きわめて不十分です。通学路や生活道路の安全対策を求める声も多くあります。ここにこそ、力を注ぐべきと考えます。</p> <p>「ビワイチ」は、琵琶湖を反時計まわりに一周する全長19.6km(県管理道路は14.1km)のサイクリングコースです。この5年間に、「ビワイチ」のための自転車道路整備に22億円もの多額の税金がすぎ込まれてきました。上級者コースについては1km1億円もの整備となり、今後、令和8年度までには上級者コース30キロの整備がおこなわれようとしています。その後も、残りの区間が条例を制定することで「自転車通行空間の整備」が促進され、巨額の税金がすぎ込まれることは問題です。ビワイチサイクルルートの(通称)さざなみ街道で、サイクリストを追い越す際に対向車との接触事故が現に発生しています。「大型車両が多い」「反対向き(時計まわり)に自転車で走る人は自動車道を走ることになる」など近隣住民からは危険性や疑問の声がでています。</p> <p>県民が「ビワイチ」についてどう考えているか、県民の視点での検証が全くされていないなかで、県政のチェック役の議会が前のめりになって、ビワイチ推進の条例をつくる必要はないと考えます。</p>
さざなみ倶楽部		なし
公明党滋賀県議団	P8	滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例とのすみわけが今後もきちんとされるよう、要望します。